

支え合う社会

子ども・若者の未来に向けて

学生、教職員、一般対象
(予約不要、入場無料)

講師

宮本 みち子氏
(放送大学教養学部教授、副学長)

《近著》

放送大学教養学部教授、放送大学副学長、千葉大学名誉教授。社会学博士。専門は、家族社会学、若者の社会学。若年層における失業者・フリーター問題、生活困窮者、貧困問題、社会的な孤立等の問題について、日本及び国際比較の研究に尽力。国及び地方自治体の子ども・若者政策の立案や、全国の若者支援団体の活動に関与。
著書：『下層化する女性—仕事と家庭からの排除』（勁草書房）、『若者が無縁化する』（ちくま新書）『若者が《社会的弱者》に転落する』（洋泉社）、『すべての若者が生きられる未来を—家族・教育・仕事からの排除に抗して』（岩波書店）ほか。



日時

2017年12月15日（金） 18：30～20：30

場所

立教大学池袋キャンパス
太刀川記念館3階 多目的ホール

ポスト工業化の社会変動の中で、若年女性の非正規雇用者化が男性を大幅に上回って進み、女性の貧困化と下層化が目立つようになってきた。これは、「子どもの貧困」と表裏一体の関係のものであり、先進諸国において深刻な問題と捉えられるようになってきている。しかし、日本では長らく貧困問題が不可視化されてきたことからなかなか社会政策が追いついていない。そこで、この問題の第一人者である宮本みち子氏から問題提起をしていただき、またその対応策について論じていただく。宮本みち子氏の約1時間のご講演に引き続き、フロアからの質疑応答の時間を設ける。